

チャペルの窓

「福音交友会」の素晴らしさ！

黒田 朔



「福音友会聖書キャンプ2025」が年ぶりに8月13日から15日、テーマ「コイノニア ～神の国を体験しよう～」の下に、京都府立ゼミナールハウス「あうる京北」で開かれました。

コロナのため、6年ぶりの開催でしたが、赤ちゃんから80代まで3世代、80人程がテーマ通りの3日間を過ごし、大満足。私たちも、阪南の暑さと直面している日常から解放され、次世代による行き届いたお世話の中で、プログラムに沿ってゆったり流れる時間の中で、のんびり、聖書に聴き、子供たちの賑わいをバックに、お喋りに花を咲かせ、お互いの様子を知って感謝するテーマ通りに「神の国を体験する」時でした。

元気に走り回る「FKKの孫たち」を眺めながら、思いっきり楽しませてやり、夏ごとに、「〇〇ちゃん、XXちゃんと遊びたい」とFKKキャンプが「毎年行きたくなる場所」に育てることが出来れば、「信仰の継承」の場と育てられないだろうかと思いました。

全てのプログラムが若い世代によって進められ、最期に、閉会礼拝で、FKKの草分け時代、ジュリア・本山宣教師によって小学生から育てられた福音交友会生え抜きの現役牧師清水昭三先生が語られたメッセージは、荒れ果てた日本に福音を届けるために宣教師として来てくださった3人の若い婦人たちが「福音交友会」という名前に込められた信仰の継承、その祝福と大切さを次世代に伝えようと語られたものでした。

「福音交友会」は全教会が「聖書教会」と名付けているように「聖書の福音」を土台とする「交友会」です。

「交友会」こそが「コイノニア」で、次のような交わりです。

- ① 「聖書、聖餐、祈りを共にする交わり」、
- ② 「互いに援助し合うことを喜ぶ交わり」、
- ③ 「手を握り合う交わり」、
- ④ 「共に宣教する交わり」、
- ⑤ 「み父、み子、聖霊との交わり」

私達HBCもこの交わりを通して生み出され、このFKKの一員であることを感謝しつつ、来年、更に、この交わりの輪が広がり、深められるようにと願いつつ、帰路につきました。